北京外国語大学
Beijing Foreign Studies University

中華人民共和国

●学部学生 約5,800人　●大学院生 約3,700人　●教職員 約1,300人　●留学生 約1,200人
ホームページ　http://www.bfsu.edu.cn/
交流協定締結年月日：2011年3月29日　　主管学部：教育学部

国際交流の特色

北京外国語大学は1941年に創立された中国トップクラスの外国語大学であり、国家教育部直属の重点大学である。延安外国語学校を前身とし、中国では最も歴史のある大学のひとつであり、多くの言語を教育している大学である。現在、101言語の教育課程を開設し、そのうちここでしか学べない言語も数多い。

1950年代から留学生の受け入れを開始、現在では約1200名の留学生を受け入れている。81の国・地域の324の大学・学術機構と交流を持ち、諸国に開設した孔子学院・孔子課堂は23ヵ所を数える。

本学との交流の中核として位置づけられる同大学附置施設の北京日本学研究センターは、1985年に設立され、日本語学、日本語教育学、日本社会、日本経済、日本文学、日本文化の各専攻からなっている。

教員からの声

北京外国語大学との交流の出発点は、同大学附置施設の北京日本学研究センター主任教授（当時）の竹内信夫先生との交流にある。

北京日本学研究センターは、中華人民共和国の国家教育部と日本国国際交流基金が両国の教育文化交流を促進するため共同で設立・経営している大学院レベル（修士・博士）の教育研究機関である。同センターは北京外国語大学のキャンパス内に設置され、同大学が教育部より経営委託を受けている。

この北京日本学研究センターは、香川県出身の故大平元総理にゆかりのある施設であり、同じく香川県出身で東京大学定年退職後は香川県に在住されている竹内信夫同センター主任教授（東大名誉教授）から香川大学学長に対して、交流協定締結を進めれば、香川大学においても、さらなる日中友好関係推進に資するのではないかという提案を受けた。その後、当時インターナショナルオフィス長であった村山は、同教授と、今後のあり方について、数度にわたり意見交換を行い、平成22年3月末日に交流協定が成立する運びとなった。今後の交流の展開が大いに期待され、香川大学に資すること大であると確信する。

香川大学名誉教授　村山　聡